

社会福祉法人青野ヶ原福祉会（拠点区分青山荘）事業報告書

実施した事業の概況

平成30年度において拠点区分青山荘で実施した事業の概況は次のとおりです。

青山荘では、特別養護老人ホーム（特養）青山荘、同ショートステイ、小野市デイサービスセンター、青山荘居宅介護支援事業並びに青山荘在宅支援センターの5事業を実施しました。

◇特養青山荘は、年間を通して100名の入所定員で、この期間では98名（期末）の入所者を預かり、自立した生活を目標に介護支援をしました。この期間に退所された方は23名であり、新たに入所者23名の方が入所されました。

◇青山荘ショートステイは、定員18名で、営業区域である5市（小野市、加東市、加西市、三木市、西脇市の各市）の利用者を各居宅支援事業者からの利用申し出により、延べ4,104名（実数利用者数280名）の短期入所生活利用者を支援しました。

◇小野市デイサービスセンターは、定員19名で、営業区域（ショートステイと同じ区域）の利用者を各居宅支援事業者からの利用申し出によって、日々のデイサービスを提供しました。当年度では、延べ2,811名が当デイサービスセンターを利用されました。利用者のうち軽度の方は自治体（小野市）による介護予防総合事業を利用されています。

◇青山荘居宅支援事業は、在宅で介護を必要とする高齢者に介護サービスを給付するための調査・相談・サービス事業所との連絡、調整を行い、利用をすすめる業務を実施しました。当該年度では、年間延509名に給付を行いました。

◇青山荘在宅支援センターは、一般在宅高齢者が自立した生活を継続できるよう支援するため、関係者との情報交換、連絡、調整を行いました。

各事業でサービスを提供するにあたっては、法に定められた事項を公正に実施し、当福祉会理念の、個人の人格・人権を尊重し、利用者に青山荘で生活する喜びを、そして職員は働く喜びを実感していただく職場環境を醸成するため、次の主な事項を実施しました。

1. 利用者が青山荘の生活を楽しむ（利用者は生きる喜びを）

(1) 音楽療法の実施（童謡唱歌を楽しむ会の実施）

音楽療法士を月2回招いて実施した

参加者 約40人 平成30年度実施回数23回

(2) 映画会の実施

月2回定期的に娯楽映画（寅さん、裸の大將、水戸黄門他）をデイホールで上映

参加者 約25人 平成30年度実施回数20回

(3) 誕生日会の実施

毎月1回、当月誕生者を合同でお祝いし、余興ボランティアを迎えて利用者全員で祝う会を催した

(4) 家族と共に花見会を実施

春は、全家族を招待し、利用者と共に花見会を実施

秋のふれあい祭りは、感染症流行のため中止

(5) 利用者の体操

毎月2回、利用者を対象にデイホールで職員指導による健康体操を実施

参加者 10～15人 平成30年度実施回数24回

(6) ボランティアによる訪問と交流

平成30年度訪問団体 11団体76名 参加利用者649人

2. 働きやすい職場をめざして（職員に働く喜びを）

（1）サービスの質を高めるための研修

- ・職員に対する研修は、外部機関が実施する研修への派遣

参加職員 54名 研修回数 48回

- ・施設内研修

年間 22回実施 延 473名参加

研修テーマ毎に専門職員による講義、実技で介護に必要な知識、技術の講習を行った。参加できなかった職員全員に資料を配布した。

（2）ケアカンファレンス・サービス担当者会

個々の利用者にサービスのあり方について専門職員で検討会を開き、利用者毎にサービスのあり方について検討・協議し、ケアプランを策定した。策定したケアプランは、利用者の同意を得た上でケア担当スタッフに周知し実践した。

3 公正な人事管理と職場環境の改善

○人事評価の実施

76名の人事評価を実施し、自己啓発と昇格、昇給並びに賞与の基礎的資料として活用した

- 楽しい職場づくり委員会を役員と職員で構成し、職員より提案される苦情や推奨すべき事項を顕在化して職員全体に周知し、働きやすい職場を職員全員で創り出すための活動を行った

- 職員のストレスチェックの実施 75名の参加

4 安心と安全のために

○施設の安全管理

消防設備の点検

- ・自主点検 毎月4回 消防器具の目視点検とメーター等チェック
- ・専門業者による点検 年2回 法令による設備点検を行い、消防署への報告

○消防訓練の実施

昼間消防訓練の実施 年2回

夜間消防訓練の実施 年1回

水防訓練（講演） 年1回

5 利用者の健康管理

○全利用者の毎日の健康管理

全利用者の健康状態を事業毎に把握し、体調の変化がある時は、管理医師、看護職員、介護職員の共働により健やかな生活が営めるよう対処した。又、看取り介護も実施し、特養退所者全ての看取りを青山荘で行い家族から厚い信頼をいただいた。特に入所者の健康管理と処置、毎日のバイタル測定、週2回の管理医師の診断と薬の処方を行う。

○家族への連絡と協力

事故、体調の変化時は看護職員、生活相談員により家族（身元保証人）に説明し、病院受診には付添いを依頼し、協力を得て実施した。

当年度内の入院者 延321名

入院先 北播磨総合医療センター・加東市民病院・西脇病院・小野病院

○看取り介護実施者 15名

○職員の健康管理

毎年1回 全職員に生活習慣病予防検診を実施 86名

他に、介護職員の腰痛健診52名、インフルエンザ予防接種85名を行った